

第13回 九州核医学研究会

日 時：昭和53年2月18日（土）

会 場：長崎大学医学部附属病院臨床大講義室

会 長：本 保 善一郎

目 次

1. 宮崎医科大学の核医学検査システム……………渡辺 克司他…629
2. ガンマカメライメージングにおける適正コリメーターの検討……………松本 政典他…629
3. RI 用ラピッド・カメラについて……………菅 和夫他…630
4. T₄ PEG Riapac による Thyroxin の測定……………吉井 弘文他…630
5. 血中サイロキシン測定用 kit SPAC-T₄ の検討……………岩崎 宏司他…630
6. CEA の経験（第2報）……………松岡順之介他…630
7. ^{99m}Tc-MDP による悪性腫瘍骨転移の検索……………池田征一郎他…631
8. 放射線照射の骨成長過程に及ぼす影響の実験的研究……………境 康彦他…631
9. ²⁰¹Tl-chloride による腫瘍シンチグラフィ——⁶⁷Ga-citrate との比較検討……………坂田 博道他…631
10. ^{99m}TcO₄⁻ による甲状腺イメージングでの食道影について……………山下 正人他…632
11. ¹³¹I-Adosterol による arrhenoblastoma の陽性描画の経験について……………中條 政敬他…632
12. 閉塞性黄疸の肝シンチグラムについて……………広田 嘉久他…632
13. シンチカメラ簡易データ処理装置——EDR-42 の使用経験……………今泉 美治他…633

一 般 演 題

1. 宮崎医科大学の核医学検査システム

渡辺 克司 一矢 有一
中野 太右
(宮医大・放)

昭和52年11月に当大学病院が開院されて約2ヵ月が経過した。放射線部 RI 部門は技師が1名、非常勤職員2名と放射線科医の人員構成で運営されている。装置はシンチカメラ2台を中心として、シンチスキャナー2台、RIAトータルシステム2台(分注器は1台)である。2台のシンチカメラにデータ処理装置としてシンチパック1200を接続し、各種動態機能検査を容易に行い得るようにした。

in vivo, in vitro の両方を小人数にて円滑に行うため、雑務の軽減化に努力した。

2. ガンマカメライメージングにおける適正コリメーターの検討

松本 政典 金子 輝夫
藤村 憲治 片山 健志
(熊大・放)

最近のガンマカメラには、^{99m}Tc 用コリメータとして範囲、高感度、高分解能さらには超高分解能等のコリメータが製作されているが、空間分解能の良さと感度とは反比例の形となるので、臨床検査においては最も適したコリメータの選択が必要である。そこで、各コリメータについて空間分解能と計数密度の関係を求め、計数密度を各コリメータの感度を用いて「(放射能平面密度) × (撮影時間)」(mCi・min・cm⁻²) に変換し、これと空